

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）連結経営成績に関する説明

当社グループの主たる事業である電気事業では、契約電力の減少などから、販売電力量は、267億4千万kWhと前年同期に比べて6.3%減少しました。

収入面では、販売電力量の減少などにより電灯電力料収入は減少したものの、託送収益や他社販売電力料などが増加したことに加え、ガス・その他エネルギー、情報通信などのその他事業営業収益が増加したことから、売上高は723,469百万円と、前年同期に比べて10,888百万円の増加（+1.5%）となりました。

一方、支出面では、徹底した経営効率化に努めていることに加え、高浜発電所3、4号機の運転再開による燃料費の低減効果があったものの、燃料価格の上昇により火力燃料費などが増加したことなどから、営業費用は676,193百万円と、前年同期に比べて23,545百万円の増加（+3.6%）となりました。

この結果、当四半期の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

#### 【連結経営成績】

（単位：百万円）

	平成29年3月期 第1四半期(累計)	平成30年3月期 第1四半期(累計)	増 減	
売 上 高	712,580	723,469	10,888	1.5%
営 業 利 益	59,932	47,275	△12,656	△21.1%
経 常 利 益	54,940	44,136	△10,803	△19.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	40,896	32,606	△8,289	△20.3%

#### 【販売電力量】

（単位：百万kWh）

	平成29年3月期 第1四半期(累計)	平成30年3月期 第1四半期(累計)	前年同期比 (%)
電 灯	9,585	9,106	95.0
電 力	18,958	17,632	93.0
合 計	28,543	26,738	93.7

（注）四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。

(2) 連結財政状態に関する説明

(単位：百万円)

科 目	平成 29 年 3 月期末	平成 30 年 3 月期 第 1 四半期末	増 減	
資 産	6,853,182	6,853,138	△44	△0.0%
負 債	5,508,485	5,496,474	△12,011	△0.2%
(うち有利子負債)	(3,821,550)	(3,894,067)	(72,516)	(1.9%)
純 資 産	1,344,696	1,356,664	11,967	0.9%

自己資本比率	19.3%	19.5%	0.2%
--------	-------	-------	------

(単位：百万円)

	平成 29 年 3 月期 第 1 四半期(累計)	平成 30 年 3 月期 第 1 四半期(累計)	増 減	
設 備 投 資 額	69,988	72,473	2,484	3.6%
減 価 償 却 費	88,590	84,315	△4,274	△4.8%

資産は、設備投資額が増加したものの、減価償却の進行などにより電気事業固定資産が減少したことなどから、前年度末に比べて 44 百万円減少 (△0.0%) し、6,853,138 百万円となりました。

負債は、有利子負債が増加したものの、買掛金などの流動負債が減少したことなどから、前年度末に比べて 12,011 百万円減少 (△0.2%) し、5,496,474 百万円となりました。

純資産は、期末配当金の支払いなどによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益 (32,606 百万円) を計上したことなどにより、前年度末に比べて 11,967 百万円増加 (+0.9%) し、1,356,664 百万円となりました。

これらの結果、当四半期末の自己資本比率は、前年度末に比べて 0.2% 上昇し、19.5% となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 29 年度の業績予想につきましては、大飯発電所 3、4 号機が本格運転に至っていないことなどから、現時点では一定の前提を置いて業績を想定することができないため、引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点において、速やかに開示いたします。